

令和7年度 産業財産権制度各国比較調査研究等事業

# 「国際知財制度分析調査」報告書

令和8年3月

一般財団法人知的財産研究教育財団  
知的財産研究所

## 要 約

### 国際的な枠組みにおける知財を巡る状況に関する調査【本編 1 頁～181 頁】

医薬品をめぐる最近の状況について、パンデミック対応を巡る WTO の動向、WHO におけるパンデミック協定を巡る動向等についてまとめた。

関連して、国際知財制度研究会の野村委員より、CBD におけるデジタル配列情報 (DSI) のアクセスと利益配分 (ABS) に関する議論やパンデミック協定に関する産業界の対応について紹介がなされた。

また、WIPO、WTO/TRIPS 理事会における議論の動向、TRIPS 協定に関する WTO 紛争案件について調査・分析を行った。

関連して、国際知財制度研究会の鈴木委員長から、中国の知的財産権エンフォースメント事件 (DS611) の分析について紹介がなされた。

### 二国間・地域的な経済連携協定における知財を巡る状況に関する調査【本編 182 頁～336 頁】

GCC 諸国等の EPA/FTA の知財章中の商標に関する規定や GCC 商標法を含めた GCC 各国の商標に関する知財制度や運用について、文献調査、国内企業へのアンケート調査、国内企業や国内法律事務所へのヒアリング調査を実施し、整理、分析を行った。

関連して、日本企業からみた外国商標制度の課題・要望について、大野総合法律事務所の中村弁理士から紹介がなされた。

### 各国における知財制度を巡る状況に関する調査【本編 337 頁～538 頁】

米国における最近の知財関連注目判決及び知財制度改正動向について、文献調査及び現地法律事務所への質問票調査を実施し、整理、分析を行った。

関連して、米国の知財政策の最新動向について、JETRO ニューヨーク事務所の蛭田知的財産部長から、紹介がなされた。

また、トルコにおける最近の知財注目判決、知財政策及び知財制度改正動向について文献調査及び現地法律事務所への質問票調査を実施し、整理、分析を行った。

関連して、同国の模倣品対策の現状と課題について、JETRO ドバイ事務所の後藤知的財産部長から紹介がなされた。





『国際知財制度研究会』（令和7年度）委員名簿

委員長

鈴木 将文 早稲田大学法学学術院 教授

委員

飯田 陽介 トヨタ自動車株式会社 前知的財産部部長  
(2025年12月まで)

奥村 浩也 武田薬品工業株式会社 グローバル知的財産ヘッド

川合 弘造 西村あさひ法律事務所・外国法共同事業 弁護士

川越 健司 トヨタ自動車株式会社 知的財産部部長  
(2026年1月から)

小山 隆史 大江橋法律事務所 弁護士

佐久間直子 富士フイルム株式会社 執行役員 知的財産本部長

真竹 秀樹 キヤノン株式会社 常務執行役員 知的財産法務本部長

田上麻衣子 専修大学 法学部 教授

田村 善之 東京大学 大学院法学政治学研究科 教授

津田 裕子 ソニー知的財産サービス株式会社 代表取締役社長

野村 将 日本製薬工業協会 知的財産部長

山内 勇 明治大学 情報コミュニケーション学部 教授

(敬称略、五十音順)

オブザーバ

新田 亮	特許庁 総務部 国際政策課 国際制度企画官
齋藤 卓司	特許庁 総務部 国際政策課 経済連携班長
伊藤 圭祐	特許庁 総務部 国際政策課 経済連携班 国際情報専門官
坪内 優佳	特許庁 総務部 国際政策課 国際業務班長
杉田 和勇貴	特許庁 総務部 国際政策課 国際業務班 国際業務係長
山岸 悠真	特許庁 総務部 国際政策課 国際業務班 国際業務係員

事務局（一般財団法人知的財産研究教育財団）

小林 徹	常務理事
中西 聡	知的財産研究所 研究部長
山西 了	知的財産研究所 主任研究員
井手 李咲	知的財産研究所 主任研究員
西村 竜二	知的財産研究所 主任研究員
西村 素夫	知的財産研究所 主任研究員
加藤 麗央	知的財産研究所 研究員
山崎 亨	知的財産研究所 研究業務課長
森田 智絵	知的財産研究所 補助研究員
石本 愛美	知的財産研究所 補助研究員
坂治 深雪	知的財産研究所 補助研究員
天童 史子	知的財産研究所 補助研究員

## はじめに

本報告書は、令和七年度『国際知財制度研究会』（以下「研究会」という）において検討を行った事項についてとりまとめたものである。

今年度の研究会では、国際的な枠組みにおける知的財産を巡る状況、二国間・地域的な経済連携協定における知的財産を巡る状況、及び各国における知的財産制度を巡る状況について検討を行った。

第一に、国際的な枠組みにおける知的財産を巡る状況に関して、「医薬品を巡る最近の議論の状況」について、WHO におけるパンデミック協定やその後の PABS 附属書交渉の動向等国際機関の議論の状況（第 1 部第 1 章）、委員からのデジタル配列情報（DSI）のアクセスと利益配分（ABS）に関する議論とパンデミック協定に関する産業界の対応の発表（同第 2 章）について検討した。また、「WIPO、WTO/TRIPS 理事会等、知的財産の専門的なフォーラムにおける議論の状況」について、TRIPS 理事会、WIPO における議論、及び WTO 紛争案件の動向（同第 3 章）、委員長からの中国の知的財産権エンフォースメント事件（DS611）の分析についての発表がなされ（同第 4 章）、禁訴令の問題を巡る各国の状況や解決に向けた今後の展望などについて議論がなされた。

第二に、二国間・地域的な経済連携協定における知的財産を巡る状況に関して、GCC 諸国等の EPA/FTA 知財章の商標規定について、文献調査、国内企業へのアンケート調査、国内企業や国内法律事務所へのヒアリング調査の結果が報告され（第 2 部第 1 章）、大野総合法律事務所の中村弁理士から、日本企業からみた外国商標制度の課題・要望について、発表がおこなわれ（同第 2 章）、GCC 商標法と GCC 各国の国内制度との関係、高額な費用の問題、マドリッド協定議定書へ未加入の問題、一出願多区分制度の導入状況、領事認証の問題、悪意の商標や周知商標の保護の状況、通過物品の取り締まりなどについて議論がなされた。

第三に、各国における知的財産制度を巡る状況に関して、米国における最近の知財関連注目判決及び知財制度改正の動向（第 3 部第 1 章）、米国の知財政策に関する発表（同第 2 章）がおこなわれ、特許適格性を巡る議論の状況や著作権を含めた AI を巡る議論、利用が広がっている訴訟ファンドを巡る状況や問題点、PTAB の審理拒否件数の増加や審査官によるばらつきの問題などについて議論がなされた。また、トルコにおける最近の知財関連注目判決及び知財制度改正の動向（同第 3 章）、トルコの模倣品対策に関する発表（同第 4 章）がおこなわれ、グレースピリオドや特許発明の実施義務の問題、特許権侵害等についての刑事罰の廃止の経緯、医薬品に関する権利行使やデータ保護を巡る問題、模倣品に対する水際での対応や民事、刑事の裁判所を巡る状況について議論がなされた。

なお、本報告書は研究会における討議を踏まえて作成されたものであるが、執筆者名の表記がある部分については執筆者が記載したものである。

令和 8 年 3 月

一般財団法人知的財産研究教育財団  
知的財産研究所







## 目 次

第 1 部	国際的な枠組みにおける知的財産を巡る状況に関する調査	
第 1 章	医薬品を巡る最近の議論の状況.....	(事務局) 1
第 2 章	CBD 及び WHO パンデミック協定における、遺伝資源及びその遺伝情報 に関する DSI の ABS に関する議論.....	(野村委員) 53
第 3 章	WIPO、WTO/TRIPS 理事会等、知的財産の専門的なフォーラムにおける 議論の状況.....	(特許庁、事務局) 56
第 4 章	中国の知的財産権エンフォースメント事件 (DS611) の分析 .....	(鈴木委員長) 176
第 2 部	二国間・地域的な経済連携協定における知的財産を巡る状況に関する調査	
第 1 章	GCC 諸国等が我が国以外と締結済みの EPA/FTA の知財章の商標の 規定の分析.....	(事務局) 182
第 2 章	日本企業からみた外国商標制度の課題・要望 .....	(大野総合法律事務所 中村弁理士) 329
第 3 部	各国における知的財産制度を巡る状況に関する調査	
第 1 章	米国における最近の知財関連注目判決及び最近の知財政策、知財制度改正 .....	(事務局) 337
第 2 章	米国の知財概況.....	(JETRO ニューヨーク事務所 蛭田知的財産部長) 449
第 3 章	トルコにおける最近の知財関連注目判決及び最近の知財政策、知財制度改正 .....	(事務局) 460
第 4 章	トルコにおける模倣品対策の概要と課題 .....	(JETRO ドバイ事務所 後藤知的財産部長) 535
第 4 部	国際知財制度研究会まとめ.....	539